

2010年度 自己評価書

学校法人藤学園 苫小牧藤幼稚園

1 本年度の重点目標

創立50周年を感謝すると共に次の周年に向けて一層教育の充実を計り教職員一丸となって保育者の研鑽をし、教育活動満足度調査、園児 保護者の保育評価をしていただき地域に更なる貢献をしていく。

2 本年度の経営方針

創立50周年を迎えるにあたり、記念式典及び記念誌の発行を行う。
また園庭遊具の見直しを行い、使用中のグローブジャングルを処分し、新しい遊具「六角タワー」及び「砂場」の新設を行う。また園児の通園範囲が広範囲となる為、園バスが2台では対応しきれないため1台増やし、運転手も1名増員する。

3 自己評価結果

分野	評価項目	自己評価	
		達成状況	改善の方策
教育目標	1 園の創立理念・建学の精神にあるキリスト教理念を理解している。	A	創立者の熱い思いを知り理解を深めていきたい。
	2 教育目標と教育方針を理解している。	A	子どものより良い成長を願い、日々話し合っている。
	3 教育方針について園長と共に定期的に話し合い、理解を深めている。	A	定期的に話し合っている。
教育課程	4 幼稚園教育要領を理解している。	B	教育要領を理解するように努める。
	5 教育目標・教育方針が教育課程に反映されている。	A	必要性をいつも話し合っている。
	6 職員全員の協力により教育課程を反省・評価し、必要に応じて改善している。	B	教職員一丸となって評価反省し努めている。
指導計画	7 園の教育課程の具体的実施計画として、長期・短期の指導計画の関連性をふまえて作成している。	A	指導計画作成において必要なことである。
	8 幼児の興味・関心、生活の流れ等、実態に応じて変更できるような計画になっている。	A	必要に応じて変更する柔軟性はある。
	9 日々の保育の記録をとり、自ら検討すると共に教員間で話し合い、次の計画にいかしている。	A	基本的なことであり、よく行っている。
教育環境	10 幼児にとってふさわしく安定した教育ができる環境になっている。	A	よりよい環境に努めている。
	11 施設・設備を整え、幼児の様々な活動がおこなわれるようにしている。	A	度々点検を行いより良い活動ができるように努める。
	12 施設・設備の安全を確保する努力をしている。	A	年に数回、全体的に見回るように努めている。
	13 施設・設備の改善や計画について積極的に意見を述べている。	A	まだまだ責任者に任せっきりが多い。

教育内容	14 神の子として世界の平和を大切にする心を育てている。	A	幼児期から広い視野で考えるよう努めている。
	15 生活や遊びの中で、頑張ったり、我慢したり等の豊かな心の体験が得られるようにしている。	A	豊かな心が育つように常に教職員と話し合っている。
	16 生活や遊びの中でルールを守り、楽しく活動できるようにしている。	A	幼児の人格形成の大切な時期をよく見守って行っている。
	17 身近な事象（自然的事象・社会的事象）や動植物との触れ合い、親しむとともに、生命の大切さや畏敬の念を感じとれるように努めている。	A	園の飼育動植物を通して折に触れ伝えている。
教師の役割	18 幼児一人ひとりの心のより所としての役割を果たしている。	A	子どもの願い、伝えたいことを汲むように努めている。
	19 保護者に信頼されるように努めている。	A	園と保護者の信頼関係により教育は成り立っている。
	20 教師であることに誇りを持ち、生きがいを感じている。	A	特に幼稚園教諭であることの誇りと生甲斐を感じている。
資質の向上	21 キリストの教えを学びそれを幼児に伝える指導法を研究している。	C	園長任せの部分がある。
	22 教師の専門性を高めるため自己研修等に意欲的に取り組んでいる。	A	外部の研修の園内研修、自らも励んでいる。
	23 保護者の子育てへの不安、育児へのニーズを理解しようと努めている。	A	その都度 丁寧に対応していく。
地域連携	24 カトリック教会との連携を計りキリスト教文化や伝統に触れる機会を大切にしている	A	カトリック教会と連携をとり行っている。
	25 家庭や地域との連携を十分に図りながら保育を展開するようにしている。	A	町内会、地域の交流を大切にしている。
	26 地域に伝えられている文化や伝統に触れる機会を大切にしている。	A	機会があれば積極的に参加したい。
	27 他の教育機関等と連携や交流をし保育にいかしている。	B	幼小連携を積極的に行っている。
組織運営	28 園・学園の組織について知り、自分もその組織の一員としての自覚をもって行動している。	A	教職員は意識して行動するように努めている。
	29 職員会議等の運営・役割に応じて積極的に参加している。	B	少々積極性に欠けるので自覚を促している。
	30 教職員間の連絡・調整が適切におこなわれている。	A	連絡漏れのないよう、同じ意識をもって行動する。
保護者との意見反映	31 保護者からの意見を聞き、それを園長に伝え、適切に反映している。	A	園全体として一つであるように努める。
	32 幼児や保護者の個人情報の取り扱いについて、適切な配慮がされている。	A	園児名簿、園児宅電話番号の外部流出に気を付けている。
	33 事故、問題等が起きた場合の園長への報告・保護者への説明、対応を適切におこなっている。	A	事故ノート、クレームノートを作成し子どもを守る。

4 総合的な評価結果

総合評価	
A	幼児教育の大切さを常に話し合い責任の自覚を促すように努めていきたい。 教師も本学園の教育を理解し協力的であった。